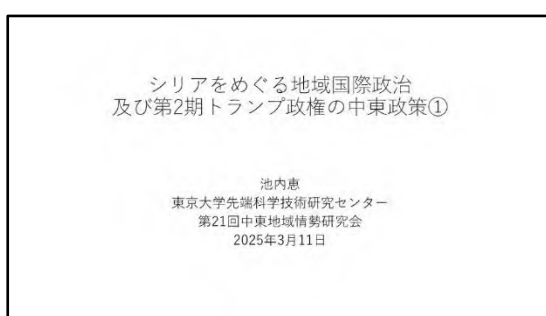


中東地域情勢研究会 第 21 回研究会 を行いました

2025 年 3 月 18 日

INPEX ソリューションズ(SLT)と東京大学先端科学技術研究センター(RCAST)、池内恵教授の研究室による中東地域情勢研究会では、3 月 11 日に第 21 回研究会を行いました。今回の研究会は、東京大学先端科学技術研究センターで、対面とオンラインとのハイブリッドで開催し、「第 2 次トランプ政権発足 2 か月間の中東への影響」と「今、シリアで起こっていることとその意味」の二つのテーマで議論をしました。



1 月 20 日に第 2 次トランプ政権が発足してから 2 か月、ガザ統治に関する「米国のガザ所有、ガザ住民の移住」構想は、アラブ社会全域で大きな反発の聲が上がっています。また昨年 12 月のアサド政権崩壊と暫定政府の発足があったシリアの情勢は、トルコの影響力が拡大つつも、中東地域政治及び国際政治に影響を及ぼして

います。今回の研究会では、これらの情勢の展開とそれが意味することについて、池内教授の報告を受けて、研究会参加者で検討・議論を行いました。



(株)INPEX ソリューションズでは、中東地域情勢研究会を通じて、今後も中東・ユーラシア地域の情勢を解説・発信していきます。

以上